

# DocuWorks Viewer Light (Android 版) アプリケーション間インターフェイス仕様

年月日 : 2020 年 11 月 18 日

バージョン : 1.4

改訂記録 :

2013 年 10 月 29 日 : 初版作成

以降の改訂記録は、「改訂記録」を参照

富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

# 1. 序

---

本ドキュメントでは、DocuWorks Viewer Light (Android 版) と他のアプリケーション間での連携インターフェイス仕様を定義する。

## 1.1. 本ドキュメントの目的、及び、適用範囲

---

本ドキュメントの目的は、Android アプリケーション開発者が DocuWorks 文書を表示する目的で、自身の開発するアプリケーションから Viewer Light を使ってファイルを表示する機能を組み込む為に必要な情報を提供することである。

## 2. アプリケーション情報

---

本章では、Viewer Light のアプリケーション情報について記述している。

---

### 2.1. パッケージ名

---

アプリケーション名： アプリケーションアイコンの下に表示される名前

DocuWorks

packageName： Google Play に登録したアプリケーションのパッケージ名

com.fujifilm.fb.docuworks.android.viewer

className： Intent で Viewer Light を指定するときの className

com.fujifilm.fb.docuworks.android.viewer.activity.MainActivity

---

### 2.2. 対応する文書ファイルの種類

---

Viewer Light は、DocuWorks 文書のみに対応している。

DocuWorks 文書は以下の 3 種類の文書フォーマットを示す拡張子のファイルである。

- "xdw"(DocuWorks 文書)
- "xbd"(DocuWorks バインダー)
- "xct"( DocuWorks 入れ物)

## 3. 他アプリケーションからの起動手順

---

他のアプリケーションから Viewer Light を起動する場合、以下の手順で起動する。

1. Intent を作成する。

```
Intent intent = new Intent(Intent.ACTION_VIEW, uri);
```

uri には、ファイルパス(file://~)または content provider(content://~)を指定する。

2. [2.1 パッケージ名]節に記載された package name と class name を `setClassName()` で指定する。
3. 必要に応じてオプションに定義された指定を extra data にセットする。
4. `startActivity()`で上記 Intent を使って Activity を起動する。

## 3.1. オプション

必要に応じて、以下のオプションを extra data にセット可能である。

キー	型	値	内容
ADDITIONAL_PROHIBIT	int	1	<p>Viewer Light では、このオプションに “1” を指定すると、表示された文書において、以下のよう に動作する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 共有機能 メニューの「共有」ボタンが無効になり、他のアプリケーションへ文書を受け渡すことができなくなる。uri が content で指定された場合、端末内へのファイルの保存もしない。</li><li>● 編集機能 メニューの「編集」ボタンが無効になり、開いた文書の編集や、端末内へのファイルの保存ができない。</li><li>● テキストのコピー機能 テキストを選択して[コピー]を押した時にメッセージ「この文書はセキュリティ設定で転記が禁止されています。テキストのコピーは実行できません。」が表示され、テキストをコピーすることができない。</li><li>● 入れ物ファイルの内容物の閲覧および保存機能 入れ物内容物一覧ボタンを押した時にメッセージ「この文書はセキュリティ設定で転記が禁止されています。入れ物の内容は操作できません。」が表示され、入れ物ファイルの内容物の閲覧およびファイルの保存ができない。</li><li>● この文書を表示した履歴を、表示履歴画面に表示しない。</li></ul> <p>対応情報： アプリケーションのバージョン 3.1 以降</p>

---

## 3.2. ファイル受け取り時の Viewer Light の動作

---

他アプリケーションから Intent によって起動された Viewer Light の動作を以下に示す。

### ○起動直後の動作

- ・指定された文書を表示する。

## 4. 付録

---

uri で指定できるファイルは以下の通り。

項目	制限値
ファイル名（拡張子を含まない）の長さ	UTF-8 で 251 byte まで
フォルダ名の長さ	UTF-8 で 900 byte まで
ファイル名とフォルダ名の合計（拡張子を含まない）の長さ	UTF-8 で 901 byte まで

※本制限値は、Viewer Light で正常動作を確認済みの値であり、この値を超える値は想定されていない。

## 5. 改定記録

---

---

バージョン	改定内容
1.4	社名変更による外部連携 I/F 変更対応。
1.3	DocuWorks Viewer Light 4.0 へのアップデートにあたり、表記を修正。 新規機能追加なし。 DocuWorks Viewer Light Biz への対応を終了した。
1.2	アプリケーション名変更。
1.1	DocuWorks Viewer Light for Android 3.2 および DocuWorks Viewer Light Biz for Android 3.2 へのアップデートにあたり、バージョン間の対応情報を追記。 新規追加機能なし。
1.0	本仕様書発行。 DocuWorks Viewer Light for Android3.1 および DocuWorks Viewer Light Biz for Android 3.1 を対象とする。

Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

上記以外の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

DocuWorksおよびドキュメントハンドリングは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本書の著作権は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社にあります。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。